

燃料被覆管

燃料被覆管 ねんりょうひふくかん

燃料（燃料物質）の被覆材として使用する薄肉円管。燃料と原子炉冷却材とを隔離して、燃料や核分裂生成物を密封し、漏出を防ぐ役目を持つ。中性子の吸収が少ない、熱伝導がよい、機械的強度が高い、高温に耐えることが要求される。軽水型発電炉ではジルコニウム合金、高速炉ではステンレス鋼、研究炉ではアルミニウム合金が材料として用いられている。

<登録年月>

1998年01月
